

## 国際放送番組の出演者問題を受けた再発防止策について

国際放送「NHKワールド JAPAN」のドキュメンタリー番組『Inside Lens』の出演者について、事実と異なる内容を伝えていたことを受け、NHKグループのすべての放送現場において、以下の再発防止策を早急に実施する。

### (1) 特定のケースにおける事実確認の強化

企業や団体からサービスの利用者を紹介されるなど、利害関係のある第三者から取材対象者の紹介を受けるような場合は、取材・制作時の事実確認をさらに強化する。

#### <具体的対策>

取材・制作上のリスクの見える化を図るために導入している「取材・制作の確認シート」に、上記のような取材・制作時のチェックポイントを追記し、放送前の事実確認をこれまで以上に徹底する。(6月中に実施予定)

### (2) 外部制作・放送権購入番組における契約時のルール徹底

外部プロダクションによる制作や放送権を購入する番組について、NHK放送ガイドラインの遵守を徹底するとともに、厳格な事実確認を求める。

#### <具体的対策>

外部プロダクションやフリーディレクターと交わす契約書に、①NHK放送ガイドラインの遵守、②「取材・制作の確認シート」の使用や委託元と委託先との複眼的チェックによる厳格な事実確認、③放送素材に虚偽や不正が認められた場合の調査協力、その他補償・賠償義務などについて明記する。

(6月中に実施予定)

### (3) 再発防止策の周知・徹底

NHKグループのすべての放送現場において、再発防止策の周知・徹底を図るため、勉強会や説明会、研修を実施する。

#### <具体的対策>

今年度の管理職異動に合わせて、放送総局内のすべての取材・制作現場で勉強会を実施するとともに、関連団体・外部プロダクションを集めた説明会を開催する。管理職を対象にした各種研修でも今回の事案を題材として例示し、放送倫理意識の向上を図る。(6月に開催される勉強会などから随時実施予定)

以上